

第4回 大磯町新庁舎整備基本構想等検討委員会（書面協議）

大磯町新庁舎整備基本構想（素案）についての意見

番号	頁	意見
1	7頁 9頁	「バリアフリー・ユニバーサルデザイン」と書かれていますが、カタカナ言葉を「・」で並べると、それが一つの単語のように見えてしまいます。「バリアフリーとユニバーサルデザイン」、「バリアフリー、ユニバーサルデザイン」などとした方が誤解を与えないように思いました。（行政文書においてご提案の書き方が一般的であればそちらを優先してください。）また、バリアフリーとユニバーサルデザインの違いを欄外に注で記すと丁寧なように思いました。
2	9頁	重視することの優先順位を意図するなら、基本方針の順番は、(2)(3)(1)(6)(4)(5)などの方がいいのではないかと？
3	9頁	(4)に「大磯の気候風土を活かし、共生する庁舎」とありますが、何と共生するかが明瞭でないように思います。「環境と共生する」もしくは「自然と共生する」でしょうか。あるいは「大磯の気候風土と共生する」ということでしょうか。
4	10頁	(1) 誰もが快適で使いやすい庁舎 ・町民交流スペースについて、 多目的利用会議室（500人規模、可動式間仕切り）の設置講演会、研修、小規模コンサート、発表会…など、また、集団健康診断や集団予防接種会場としても利用できるかと思えます。隣町二宮町にあって大磯町には無く住民としては大変困っています。
5	11頁	③執務スペースについて フリーアドレスの運用、ミーティングスペースやバックゾーンの配置などについて、省スペース・効率化の観点は重要ですが、職員の意識や行動改革を呼び起こし、また所属内外での連携を円滑にするような職場環境を創造するなど、働き方改革にも結び付く目標なども入れたほうが良いと思えます。

番号	頁	意見
6	13 頁	<p>(3) ②耐震性能・構造形式について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 ポツ目の文章について、耐震性能のみではなく耐津波性能も記載するべきと思います。 ・ 表のメンテナンス欄について、定期点検の要否とは免震装置の点検のことだと思いましたが、この表現ではわかりにくいと思います。また基礎免震構造と柱頭免震での言葉の使い分けの意味がよくわかりません。そもそもこの欄は必要でしょうか？
7	13 頁	<p>(3)防災の拠点となる安全安心の庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模災害に耐え庁舎機能を維持する・・・について <p>今回の庁舎建て替えは、庁舎の老朽化による耐震性の課題から提案されたもので建て替えの第一目的と考えます。大規模地震に耐えられる安全安心の庁舎提案は賛成です。</p>
8	14 頁	<p>(4) 環境と共生する省エネルギーな庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大磯の豊かな自然と共生する「スーパーエコ庁舎」には、賛成です。太陽光発電や太陽光採光システムを取り入れ「エネルギー 0 円庁舎」を進めていただきたいと思います。
9	14 頁	外溝の緑化については触れないのか？条例等で公共施設の緑化基準等があれば記載してもいいのではないかと？
10	16 頁	<p>(6) まちづくりの拠点となる庁舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町議会議場について基本的には賛成ですが、議場を工夫し議会の閉会中は他の会議ができるように多目的な利用可能な議場にしていただきたい。
11	22 頁	<p>第 5 章 1 (2)敷地概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用途地域の欄において、「庁舎用途の建設には 48 条許可申請が必要」と建築基準法の特例許可を前提とした記載にしてい

番号	頁	意見
		<p>ますが、P23(3)の記載内容と矛盾しています。</p>
12	23 頁	<p>・安全安心の庁舎の観点から考えた時、海に近く海拔 14.1mにある建設敷地は津波による浸水の危険があり、住民としては一番懸念される場所かと思えます。大磯町町内の様々な建設候補地を検討し、その結果、現庁舎の敷地になったことや津波シミュレーションを実施していることを打ち出していきたい。津波浸水想定が敷地地盤レベルと近似した水位であることは町民としては納得できないと思えます。そこで、防潮堤や土盛（2 から 3メートル程度でも）をして安全対策を行っていただきたいと思えます。強く希望します。</p>